

地域の実情と課題

- ・大阪府内における産業構造
府内に本社を置く企業の内、中小企業が占める割合は99.6%（約26.2万社）、うち小規模企業は83.6%（約21.9万社）
- ・大阪府内における女性の就労状況・就業率
大阪府の就業率（15～64歳）は、全国45位と低い状況。
- ・女性ロールモデルの不足
管理職・役員として第一線で活躍している女性が社内にはいないことが課題である。女性活躍が進んでいない要因・・・女性ロールモデルの不足53.9%

事業の特徴

- ・自分らしい「働き方・生き方」を選択できる能力を培うことのできるセミナーを高校、大学で実施。（2カ所）
- ・男性も女性もいきいき働くことのできる元気な企業・団体をめざす「男女いきいき・元気宣言事業者登録」制度の登録事業者等から派遣されたロールモデルからの講義をメインとし、加えて男女共同参画社会についての講義も行っている。
- ・男女双方のロールモデルに講義いただき、家庭での家事・育児の分担や仕事との両立についてより理解を深められるような構成としている。

事業の効果

・生徒・学生向けの啓発事業を実施することで、生徒・学生が就職先企業の女性活躍推進の取組を重視するようになれば、企業側が女性活躍推進の必要性を認識し、ひいては社会全体の女性活躍推進に向けた機運醸成につながる事が期待される。

【効果検証】

参加者アンケート調査で、「今後のライフデザインやキャリアプランを考えるにあたって参考になった」と回答した割合は95.2%と、高い評価であった。

目的・目標

- ・事業の目的
産学官等で構成する「OSAKA女性活躍推進会議」と連携のもと、オール大阪で情勢が輝く大阪の実現に向けて、企業の経営者や若者の意識改革等にかかる啓発事業を充実・強化し、男女ともに持てる力を十分に発揮し、あらゆる分野で活躍できる元気な大阪をめざす。
- ・目標・達成状況
大阪府の女性の就業率（労働力調査・年平均）は、平成26年：44.8% ⇒ 令和5年：52.6%（7.8%上昇）と着実に上昇している。

連携団体

- ・OSAKA女性活躍推進会議
構成団体：大阪商工会議所、大阪府、一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団、大阪労働局、公益社団法人関西経済連合会、公益財団法人21世紀職業財団（関西事務所）、近畿経済産業局、日本労働組合総連合会 大阪府連合会、特定非営利活動法人南大阪地域大学コンソーシアム
- ・大阪府男女共同参画推進ネットワーク
- ・大阪府「女性活躍推進庁内連携会議」

今後の課題

- ・非正規雇用の男女差や、依然として大きい男女の給与格差の是正のため、働き方や生き方について若いうちから考えてもらうことが必要。
- ・管理的職業従事者に占める女性割合も全国平均を下回っているため、就業している若い世代や、就業前の生徒・学生をターゲットとした男女の性別役割分担意識改革に係る事業が引き続き必要。

令和5年度ライフデザインの描き方セミナーを開催（2カ所）

社会人ロールモデルによる体験談の発表や、ワーク等を実施。
「働き方・生き方」について理解を深めてもらうとともに、
就業への意欲を高めてもらうセミナーを、高等学校1校、大学1校で実施。

実施概要

時期：令和6年12月13日（水）
開催校：大阪府立東淀川高等学校
参加人数：13人

時期：令和6年12月15日（金）
開催校：大阪公立大学
参加人数：29人



実施内容（例）

- ・ 講義①（働く場における男女共同参画の現状と課題を紹介）
- ・ ロールモデルによる自己紹介・トークセッション
 - 〈テーマ例〉・ 講師から自己紹介（キャリア、会社の取組、家族構成等について）
 - ・ 仕事と育児の両立について
 - ・ 仕事を通じて得るもの／子育てを通じて得るもの
- ・ ワーク
 - 〈テーマ例〉・ アンコンシャスバイアス・性別役割分担意識について
 - ・ 家庭・家族、職業・職場に関する固定観念の解消
 - ・ 男女の対等な関係について
- ・ 講義②（DVや虐待等について）
- ・ 講師との質疑応答、講師からコメント、アンケート